

令和元年10月31日  
第2回福祉問題審議会  
諮問事項3  
子ども政策課



# 子ども・子育て支援事業計画 (令和2年度～令和6年度) (案)

# 子ども・子育て支援事業計画

1. 計画の概要
2. 習志野市の現状
3. 基本的な考え方
4. 基本施策
5. 必要量と確保方策

## ○計画の趣旨

急速な少子化の進行、家庭や地域を取り巻く環境の変化

一人ひとりの子どもが  
健やかに成長することができる社会の構築

保育需要などに対する受け皿の確保

多様な子ども・子育て支援を  
提供するための体制の確立

計画的な実施

## ○計画の位置づけ

子ども・子育て支援法

次世代育成支援対策推進法

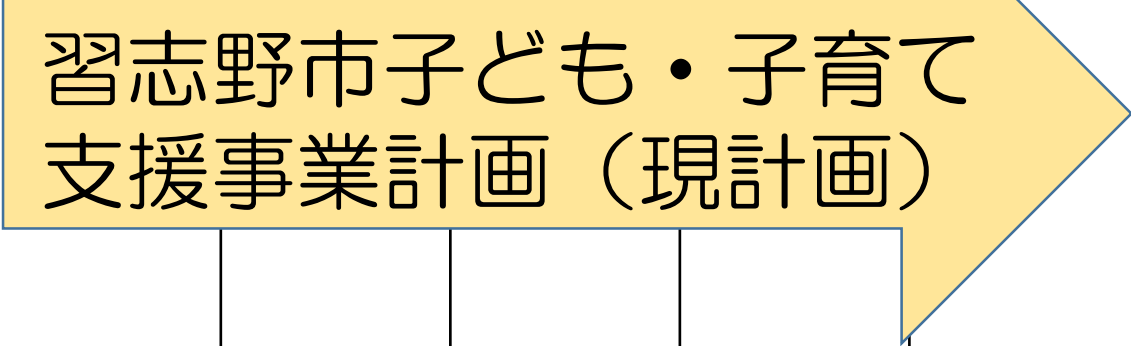
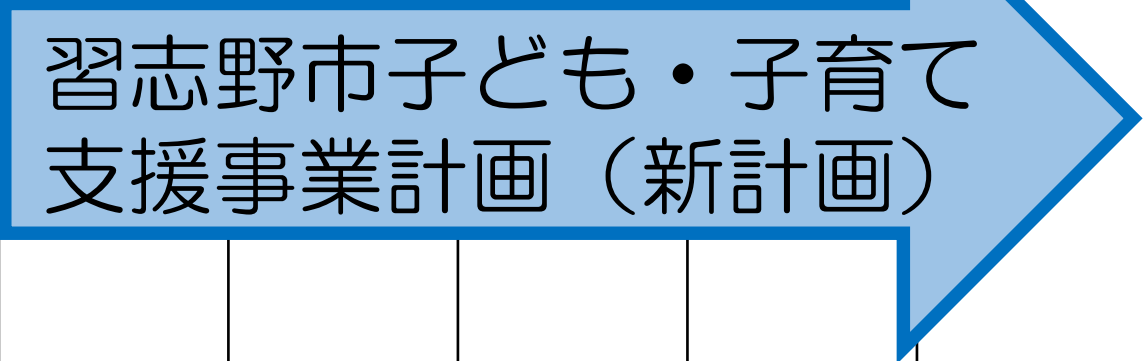
市町村子ども・子育て  
支援事業計画

次世代育成支援対策  
行動計画

**習志野市子ども・子育て支援事業計画**

「母子保健計画」 「新・放課後子ども総合プラン」  
「子どもの貧困対策推進計画」

## ○計画期間

| 平成27<br>(2015)  | 平成28<br>(2016) | 平成29<br>(2017) | 平成30<br>(2018) | 令和元<br>(2019) | 令和2<br>(2020)   | 令和3<br>(2021) | 令和4<br>(2022) | 令和5<br>(2023) | 令和6<br>(2024) |
|---|----------------|----------------|----------------|---------------|---|---------------|---------------|---------------|---------------|
|  <p>習志野市子ども・子育て<br/>支援事業計画（現計画）</p> |                |                |                |               |  <p>習志野市子ども・子育て<br/>支援事業計画（新計画）</p> |               |               |               |               |
|   |                |                |                |               |   |               |               |               |               |

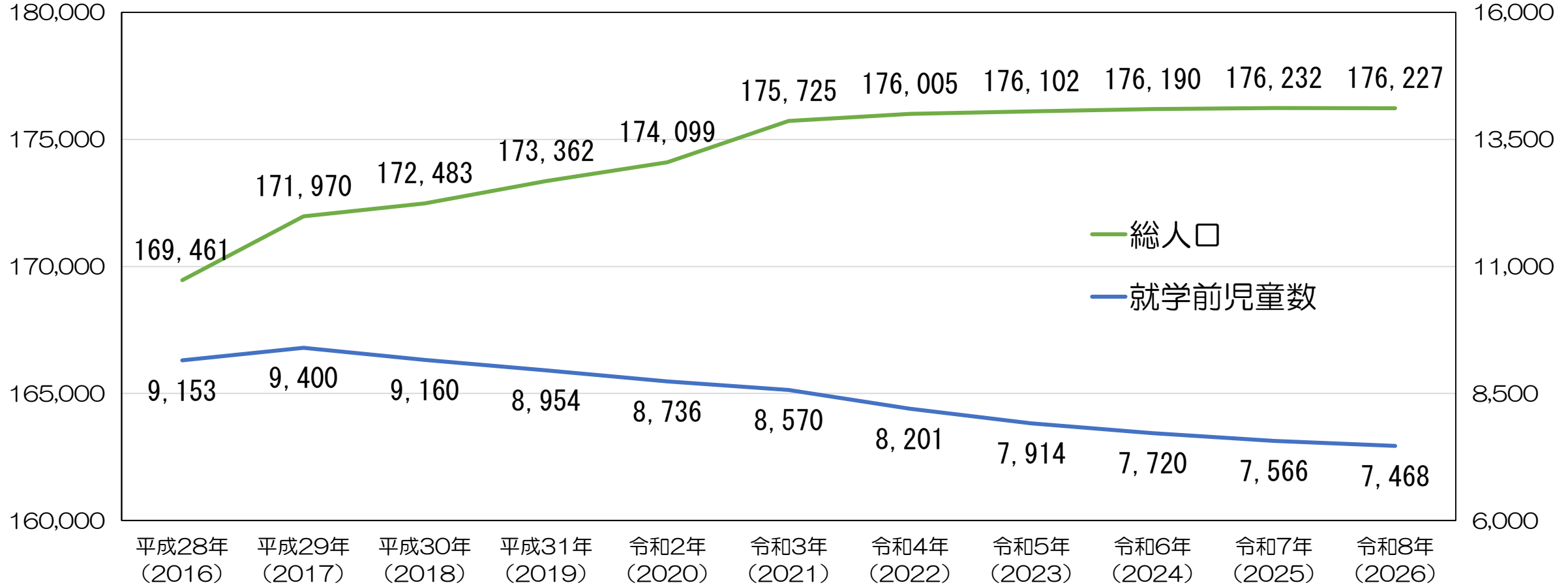
法令の規定に基づき、令和2年から令和6年の5年間

# ○総人口・就学前児童数の推移・推計

<習志野市人口推計>

(総人口：単位：人)

(就学前児童数：単位：人)

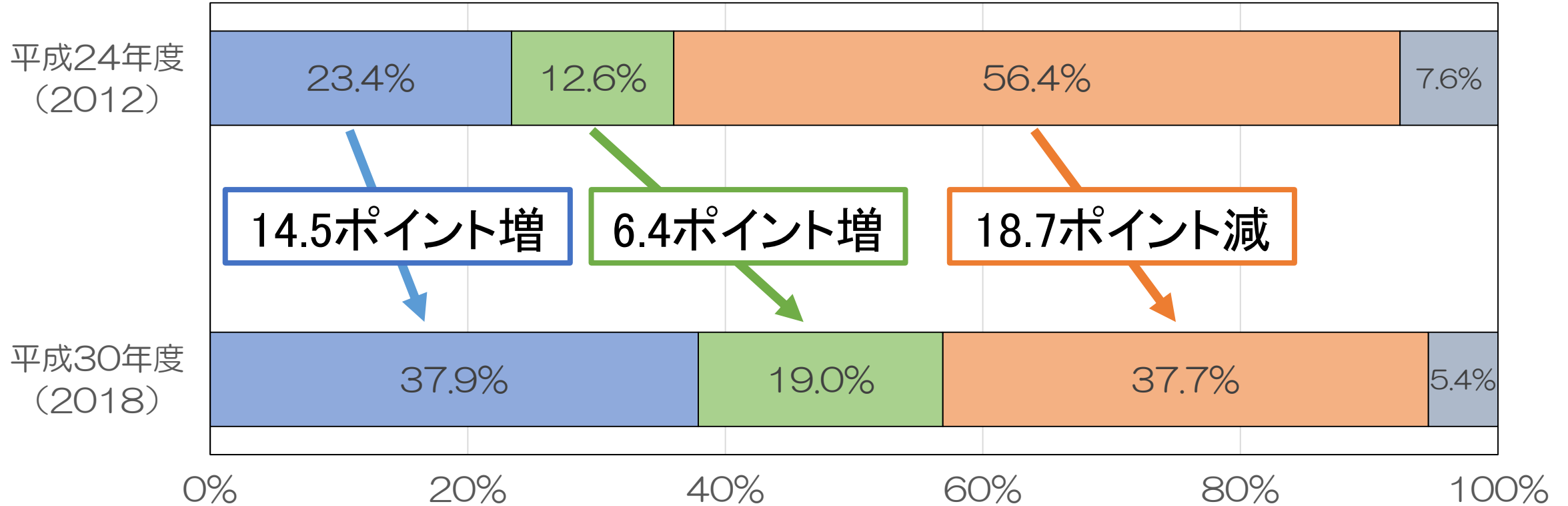


総人口は令和7年まで増加し、その後減少に転じる見込み

# ○就学前児童世帯の就労状況

＜習志野市子育て支援に関するニーズ調査＞

■フルタイム共働き ■フルタイム・パートタイム共働き ■専業主婦（夫）家庭 ■その他

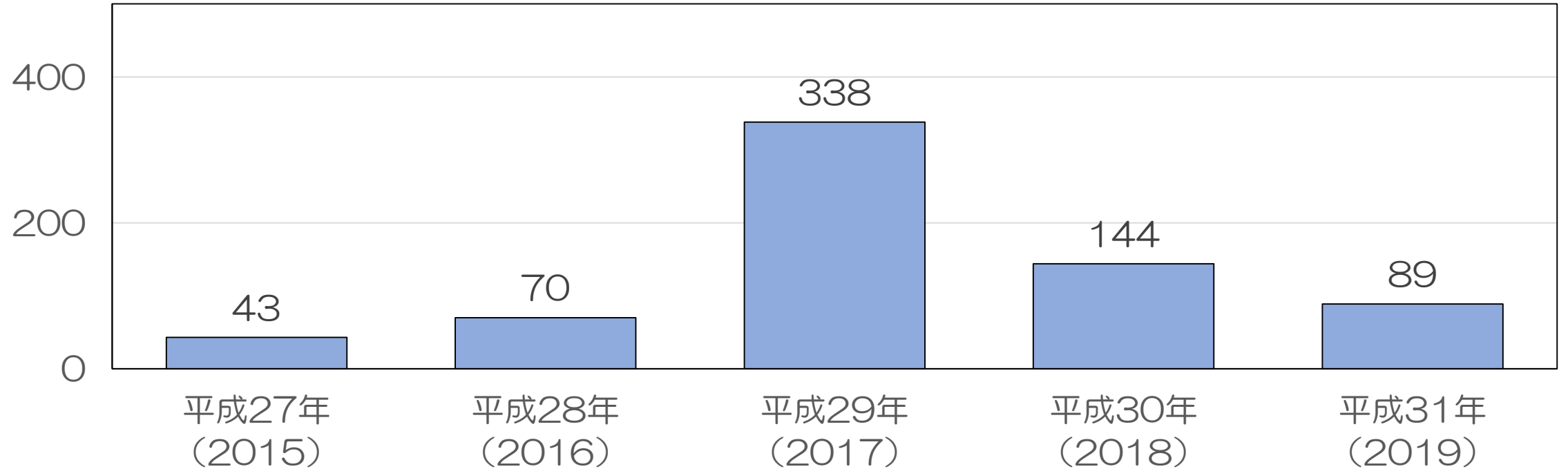


**共働き世帯が大きく増加**



# ○待機児童数の推移（保育所等）（各年4月1日現在）

（単位：人）



施設整備などで定員拡大

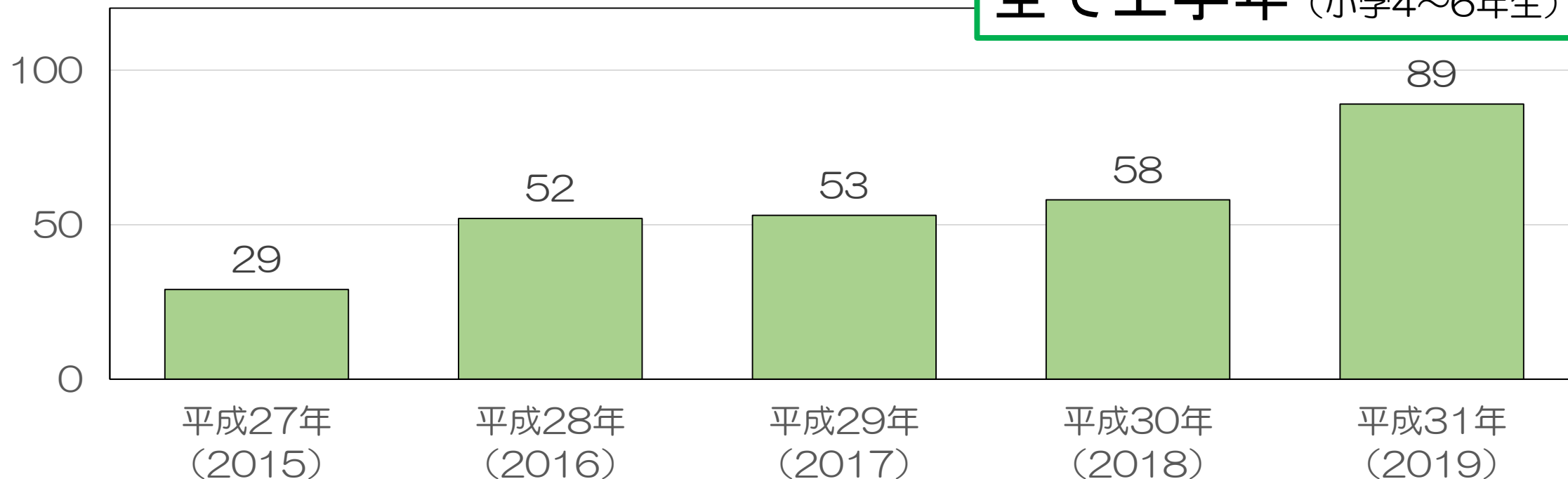
待機児童の解消には至らず



# ○待機児童数の推移（放課後児童会）（各年5月1日現在）

(単位：人)

全て上学年（小学4～6年生）

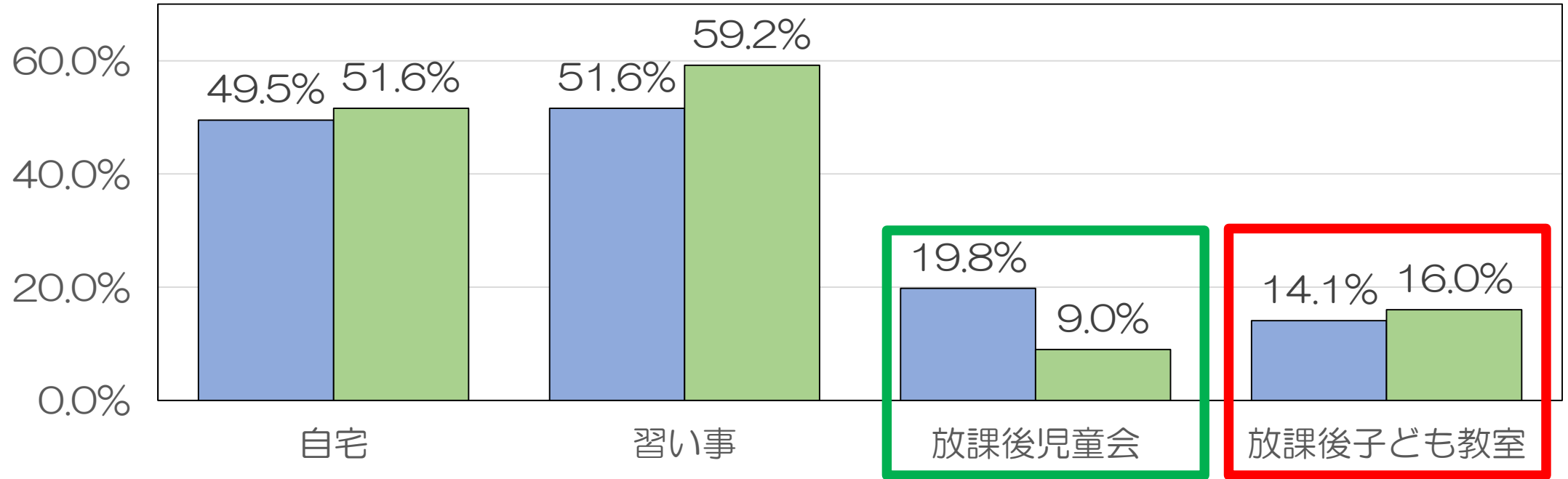


施設整備などで定員拡大

待機児童の解消には至らず

# ○就学児童世帯の放課後に過ごさせたい場所（複数回答可）

■下学年（小学1～3年生） ■上学年（小学4～6年生） <習志野市子育て支援に関するニーズ調査>

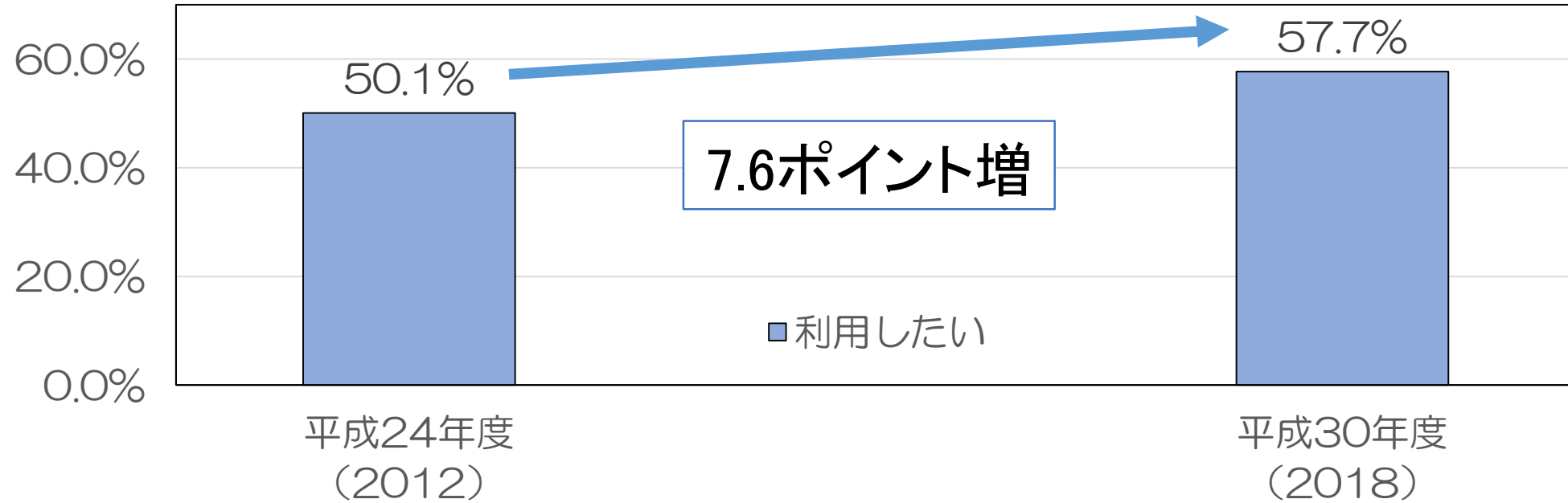


**放課後子ども教室の希望（特に上学年対策）**

**他市の事例も含め実施要望の意見多数**

# ○就学前児童世帯の不定期事業の利用希望

(一時保育、ファミリー・サポート・センター等) <習志野市子育て支援に関するニーズ調査>



一時保育

利用施設拡大

予約方法改善

意見多数

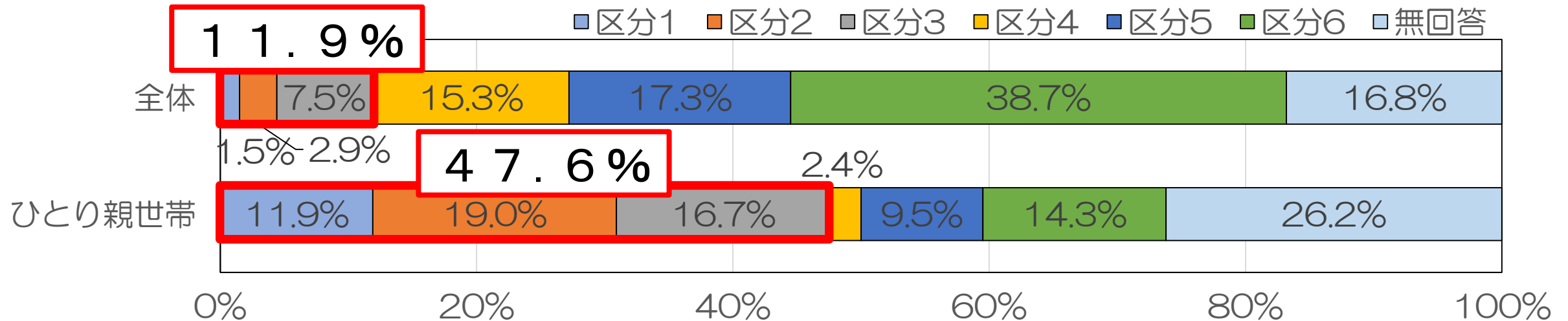
## 2. 習志野市の現状 習志野市

○世帯の可処分所得区分別構成比のひとり親世帯との比較（小学5年生・中学2年生）

＜習志野市子どもの生活に関する実態調査＞

| 世帯員<br>人数 | 可処分所得（世帯員全員の所得から税・保険料等を除いた額） |           |           |           |           |        |
|-----------|------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--------|
|           | 区分1                          | 区分2       | 区分3       | 区分4       | 区分5       | 区分6    |
| 2人        | ～ 85万円                       | 85～175万円  | 175～260万円 | 260～345万円 | 345～430万円 | 430万円～ |
| 3人        | ～105万円                       | 105～210万円 | 210～315万円 | 315～420万円 | 420～525万円 | 525万円～ |
| 4人        | ～120万円                       | 120～245万円 | 245～365万円 | 365～485万円 | 485～605万円 | 605万円～ |

**経済的に困難な可能性がある世帯**（国が算出した貧困線の1.5倍）

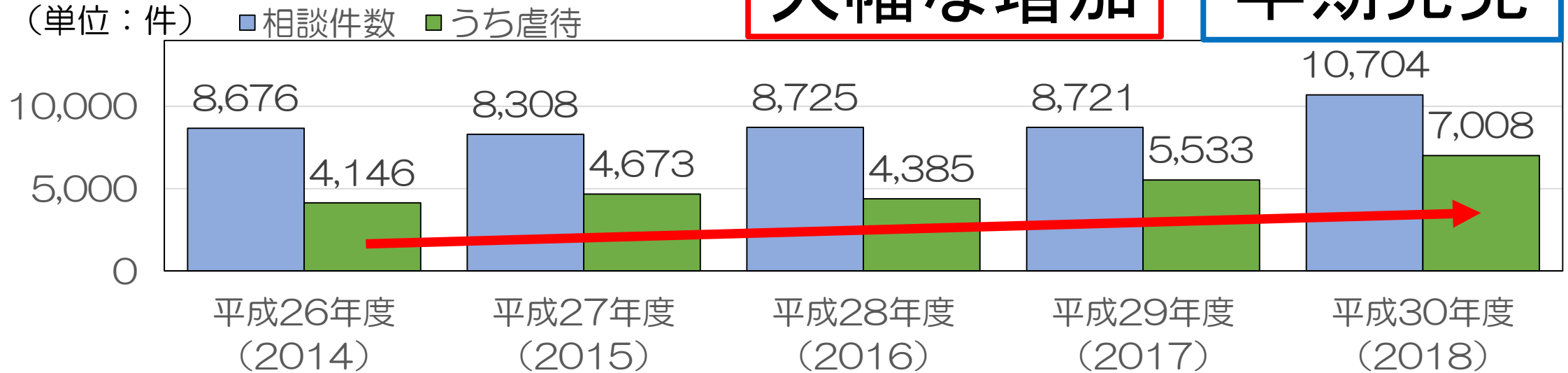


**全体でも約1割、ひとり親世帯の約半数が経済的に困難な可能性**

### ○子育て支援相談室への相談件数

**大幅な増加**

**早期発見**



### ○虐待相談対応件数

(単位：件)

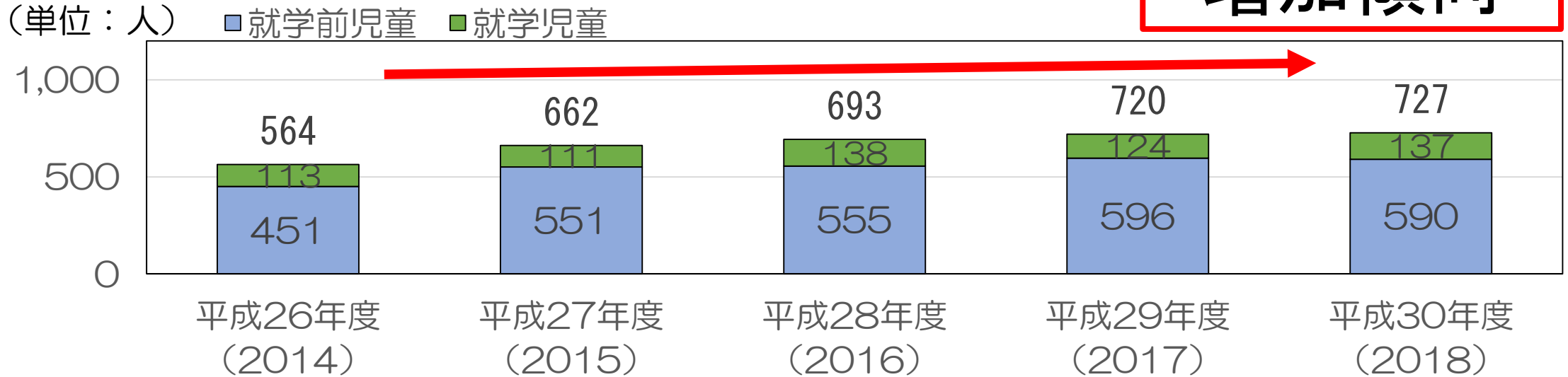


**大幅な増加**

**内容の複雑化**

○ひまわり発達相談センター利用実人数

**増加傾向**



○個別支援計画作成・運用件数



**乳幼児期から学齢期への継続的な支援が必要**



## ○次期計画の重点課題

1. 待機児童対策（保育所等）

2. 待機児童対策（放課後児童会）

3. 放課後の居場所づくり（放課後子ども教室）

4. 在宅家庭も含めた預けやすい環境（一時保育）

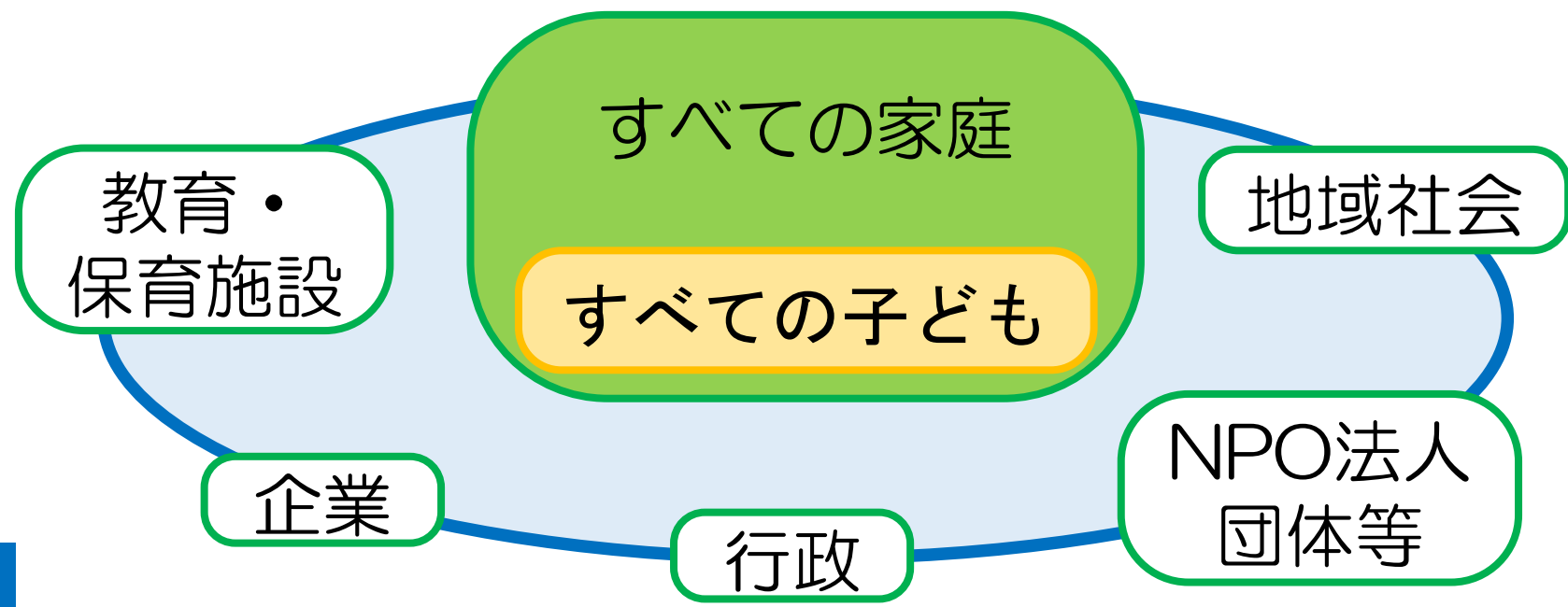
5. 子どもの貧困対策（ひとり親も含めた対策）

6. 児童虐待防止体制の整備

7. 発達支援の充実

# ○基本理念

子どもの健やかな成長を  
みんなのやさしさで支えるまち 習志野





基本視点

基本目標

**自律力**

子どもが、自分の未来を見つめて  
たくましく生きていく力を育む

**家庭力**

家庭が、喜びや生きがいを感じながら  
子育てができる力を持つ

**地域力**

地域社会が、子どもや家族・家庭を  
やさしく見守り支える力を持つ



## ○重点課題への対応事業

### 1. 待機児童対策（保育所等）

#### こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編

- ・市立こども園2園を整備（保育定員拡大）
- ・市立保育所3所を私立化（保育定員拡大）

#### 教育・保育施設、小規模保育事業所の充実

- ・民間認可保育所等の誘致等（保育定員拡大）



# ○重点課題への対応事業

## 2. 待機児童対策（放課後児童会）

### 放課後児童会の運営

- 需要に応じた施設を整備（定員拡大）
- 支援員確保に向けて、計画的に委託化を実施  
これまで、津田沼、大久保東、藤崎で実施  
新たに、秋津、東習志野、袖ヶ浦西、袖ヶ浦東、  
屋敷、向山、鷺沼で実施

## ○重点課題への対応事業

### 3. 放課後の居場所づくり（放課後子ども教室）

#### 放課後子ども教室の実施

- 放課後子ども教室を11小学校に整備  
大久保東小、秋津小、東習志野小、袖ヶ浦西小、袖ヶ浦東小、  
藤崎小、屋敷小、向山小、香澄小、実花小、鷺沼小
- 放課後児童会との一体的整備

### 4. 在宅家庭も含めた預けやすい環境（一時保育）

#### 一時預かりの充実

- 実施施設の拡大、予約方法の見直し



## ○重点課題への対応事業

### 5. 子どもの貧困対策（ひとり親も含めた対策）

#### 補足給付の実施

- ・給食費や教材費等に対する費用助成

#### 学習支援の実施

- ・ひとり親も含む生活困窮世帯などへの学習支援

### 6. 児童虐待対策

#### 虐待の予防、早期発見と対策、防止

- ・子ども家庭総合支援拠点の設置
- ・研修等の実施、児童相談所などとの連携を強化

## ○重点課題への対応事業

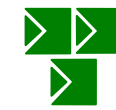
### 7. 発達支援の充実

#### ライフサポートファイルの活用

- ・ 幼児期から成人に至るまで切れ目のない支援を推進

#### 巡回相談の実施

- ・ 幼稚園、保育園、こども園に出向き、  
保育者と保護者を支援する相談を実施



## 就学前児童数と教育・保育の必要量（令和元年度）

|        | 0歳児    | 1歳児    | 2歳児    | 3歳児    | 4歳児    | 5歳児    | 計      |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 就学前児童数 | 1,381人 | 1,419人 | 1,492人 | 1,578人 | 1,566人 | 1,518人 | 8,954人 |
| 教育必要量  |        |        |        | 555人   | 776人   | 817人   | 2,148人 |
| 構成比    |        |        |        | 35%    | 50%    | 54%    | 24%    |
| 保育必要量  | 265人   | 643人   | 599人   | 638人   | 570人   | 524人   | 3,239人 |
| 構成比    | 19%    | 45%    | 40%    | 40%    | 36%    | 35%    | 36%    |

毎年新しい1歳児の利用希望が増加

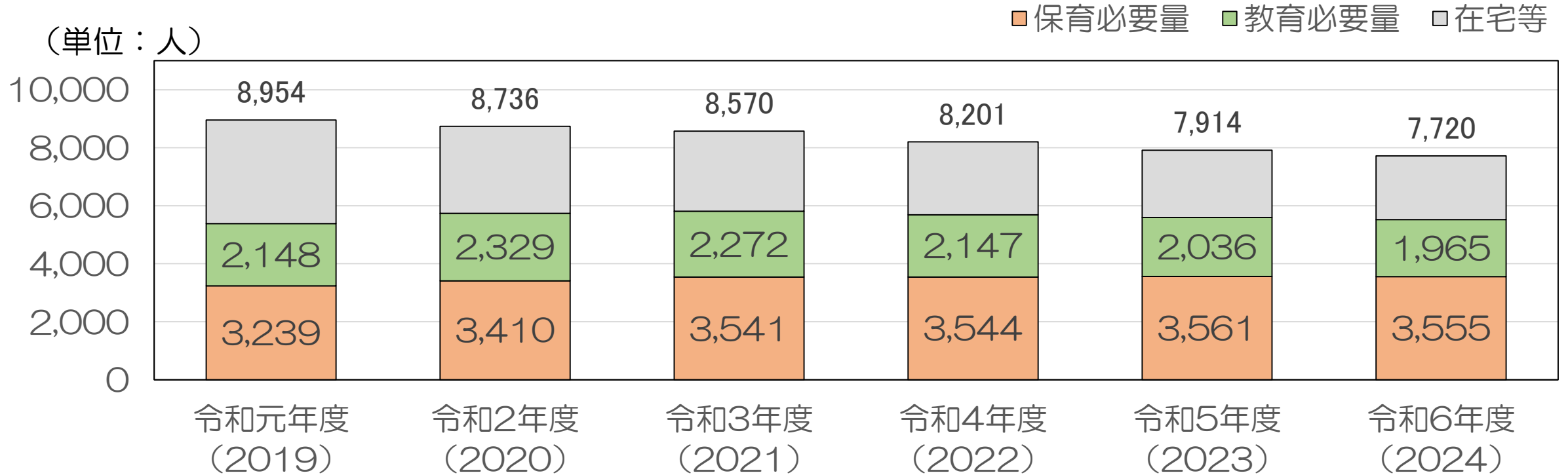
## 就学前児童数と教育・保育の必要量の見通し（令和6年度）

|        | 0歳児               | 1歳児               | 2歳児               | 3歳児               | 4歳児               | 5歳児               | 計                   |
|--------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------------|
| 就学前児童数 | 1,265人<br>(△116人) | 1,273人<br>(△146人) | 1,252人<br>(△240人) | 1,272人<br>(△306人) | 1,286人<br>(△280人) | 1,372人<br>(△146人) | 7,720人<br>(△1,234人) |
| 教育必要量  |                   |                   |                   | 636人<br>(+81人)    | 643人<br>(△133人)   | 686人<br>(△131人)   | 1,952人<br>(△196人)   |
| 構成比    |                   |                   |                   | 50%               | 50%               | 50%               | 25%                 |
| 保育必要量  | 319人<br>(+54人)    | 663人<br>(+20人)    | 634人<br>(+35人)    | 636人<br>(△2人)     | 629人<br>(+59人)    | 670人<br>(+146人)   | 3,555人<br>(+316人)   |
| 構成比    | 25%               | 52%               | 51%               | 50%               | 49%               | 49%               | 46%                 |

**教育（3歳児）・保育の必要量が増加**



# 就学前児童数と教育・保育の必要量の推計

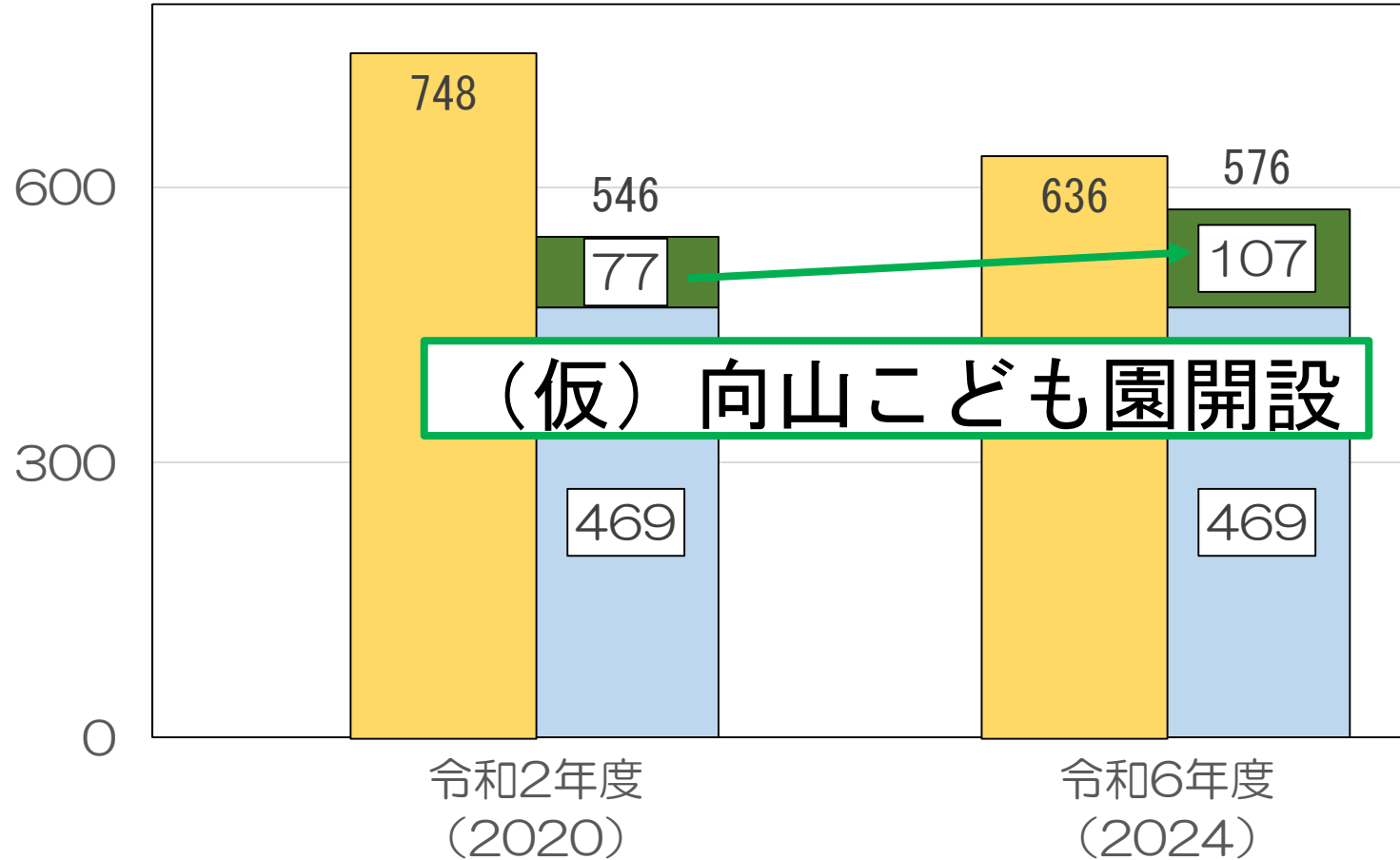


**教育の必要量は減** (児童数減・構成比横ばい)

**保育の必要量は増** (児童数減・構成比増)

# 教育（3歳児）の確保方策

(単位：人) □私立 ■市立 □必要量

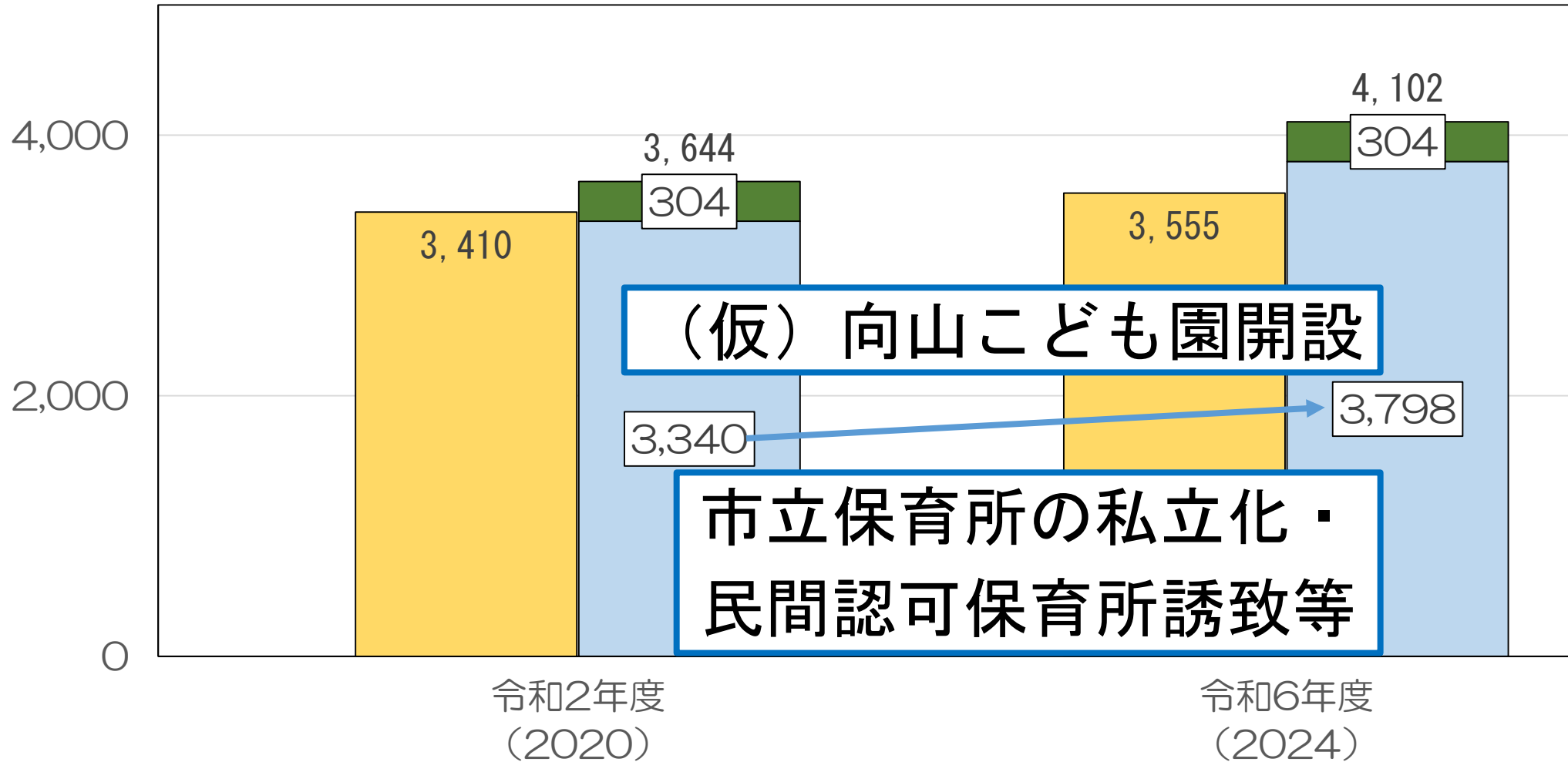


不足分は、市内私立幼稚園、こども園及び市立こども園において、受入れ枠を整えます

# 保育の確保方策

(単位：人)

■認可 ■認可外 ■必要量



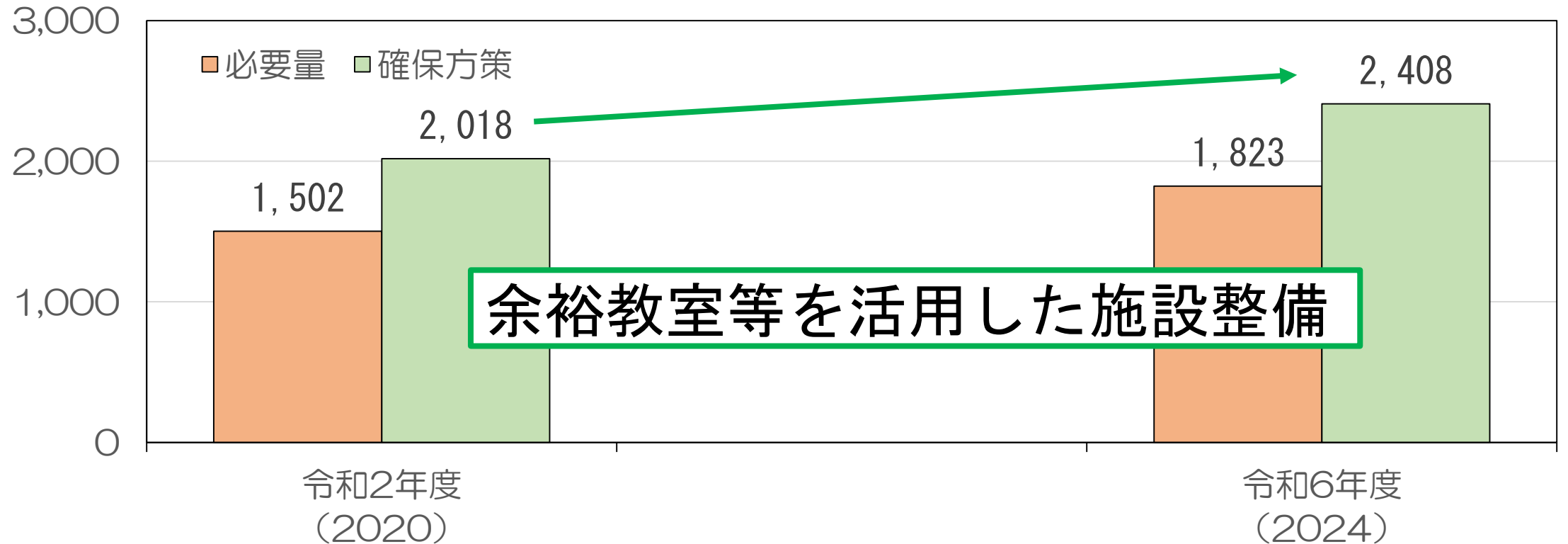
(仮) 向山こども園開設

市立保育所の私立化・民間認可保育所誘致等

地域子ども・子育て支援事業の必要量と確保方策（3）

○放課後児童健全育成事業（放課後児童会）

（単位：人）



余裕教室等を活用した施設整備

放課後子ども教室と連携

# 5. 必要量と確保方策

### 地域子ども・子育て支援事業の必要量と確保方策（1）

#### ○地域子育て支援拠点（こどもセンター等）

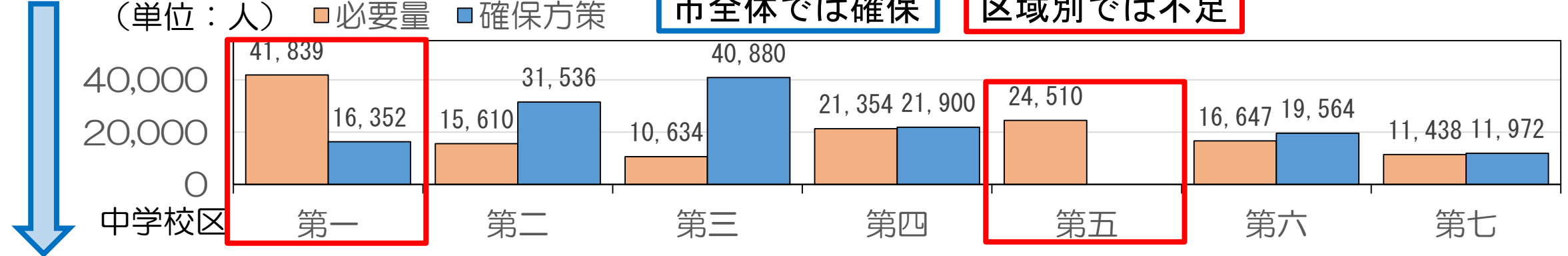
きらっ子ルームおおくぼは、令和2年度大久保こども園こどもセンターへ移転

#### 令和2（2020）年度

（単位：人） ■必要量 ■確保方策

市全体では確保

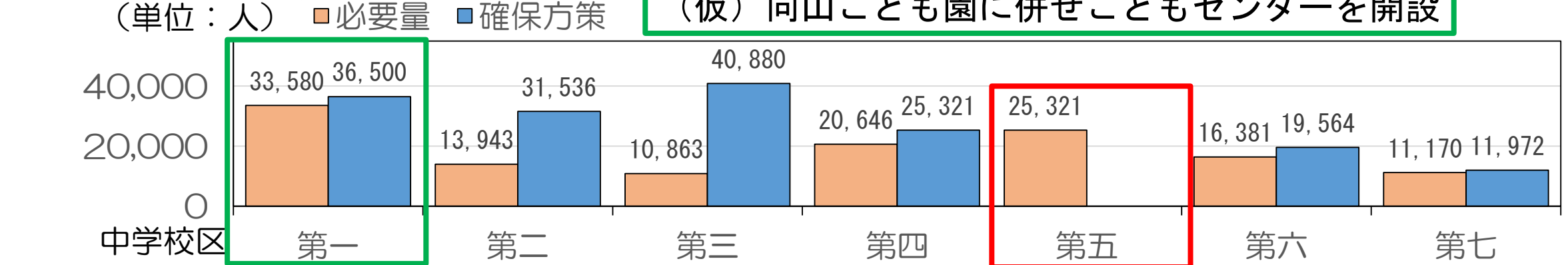
区域別では不足



#### 令和6（2024）年度

（単位：人） ■必要量 ■確保方策

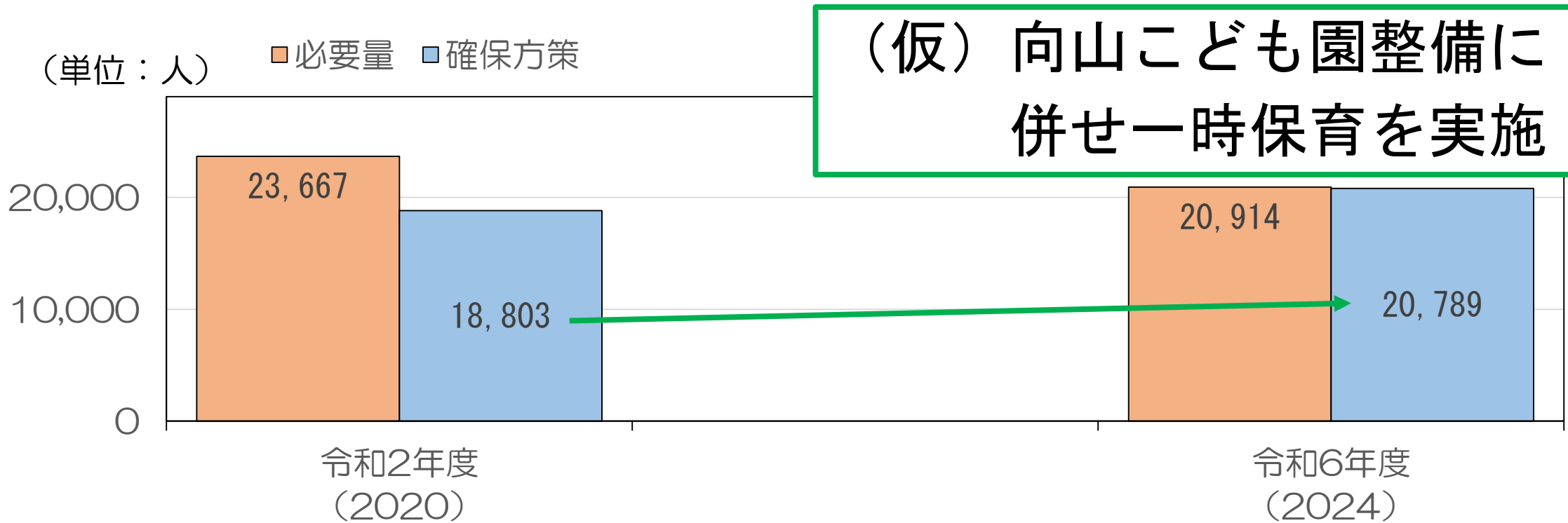
（仮）向山こども園に併せこどもセンターを開設



令和7（2025）年度（仮）藤崎こども園開設に向け準備

地域子ども・子育て支援事業の必要量と確保方策（2）

○一時預かり事業（幼稚園在園児以外の利用分）



地域ニーズを考慮し、実施施設の拡大を検討

予約方法の改善策を検討

## ○今後の予定

1 1月15日～1 2月20日

パブリックコメント

1 1月16日・17日 説明会（各公民館）

1月22日 教育委員会にて審議



策定